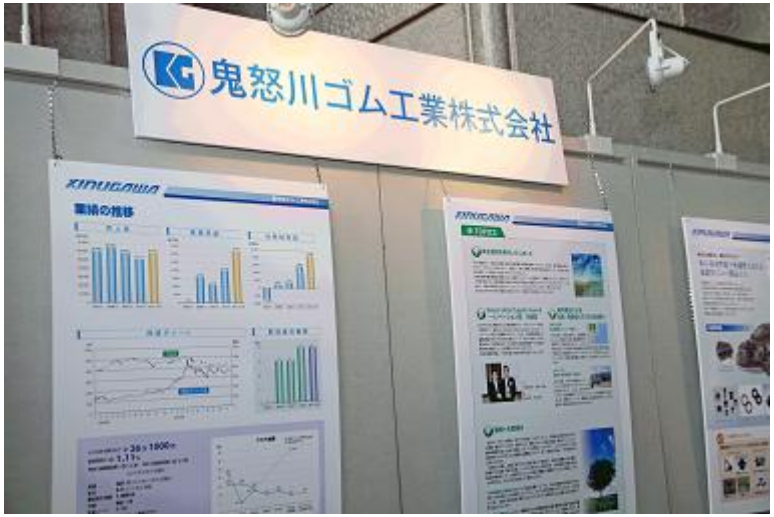
個人投資家様向け会社説明会を実施

２０１０年１２月５日（日）、日興ＩＲ㈱主催の「個人投資家様向けＩＲ説明会」が東京証券取引所において開催され、当社も参加致しました。当日は、参加企業数１６社、参加人員数７４０名と、決して大きな規模ではありませんが、盛況のうちに執り行われました。

当社の説明会には、定員１２０名の会場に約１３０名の個人投資家様にご出席頂き、社長の関山から「事業の状況と今後の展望」について、改善の動画などを交えて説明させて頂きました。約４０分間の説明でしたが、ご出席の皆様には熱心にお聴き頂き、説明終了後も励ましのお言葉などを頂戴致しました。

個人投資家様向け会社説明会を実施

また、当日は当社のブースも設営し、投資家様のご質問などにお答えするとともに、ご要望に応じて説明会資料や決算短信、また発刊したばかりの「株主通信」などもお渡しし、当社の内容についてご理解頂く機会として非常に有効であったと考えています。



個人投資家様向け説明会

事業の状況と今後の展望

2010年12月5日

鬼怒川ゴム工業株式会社

上場取引所：東証一部

コード：5196

http://www.kinugawa-rubber.co.jp/

本日の内容

Ⅰ．当社の概要（特徴と強み）

Ⅱ．2010年度上期決算及び通期の見通し

・上期決算の状況
・通期の見通し

Ⅲ．当社グループの取組み

Ⅳ．今後に向けて

Ⅴ．株主還元策

KINUGAWA

Ⅰ．当社の概要（特徴と強み）

Ⅱ．2010年度上期決算及び通期の見通し

・上期決算の状況
・通期の見通し

Ⅲ．当社グループの取組み

Ⅳ．今後に向けて

Ⅴ．株主還元策

Ⅰ．－1　当社の概要（特徴と強み）

「お客さまの満足の追求」と「CSRへの取組み」を通じて『社会貢献』を実現して参ります

会社名	鬼怒川ゴム工業株式会社 Kinugawa Rubber Industrial co.,ltd
本社所在地	千葉県千葉市稲毛区長沼町330番地
設立	1939年10月1日
資本金	56億5千4百万円　（2010年9月末現在）
売上高	【連結】 521億円　（2010年3月期）
上場市場	東京証券取引所市場1部　（証券コード:5196）
代表者	代表取締役　社長執行役員　関山　定男
従業員数	【連結】4,051名<含む契約社員>　（2010年9月末現在）
営業所	大阪営業所（2010年11月1日に名古屋から移転）
関係会社	国内:11社　　海外:9社

社名の由来　～ なぜ鬼怒川？ ～

草創期の経営者は釣りが趣味で、ある年の秋、栃木・鬼怒川にヤマメ釣りに行ったところ、思いがけない大量の釣果に縁起のよさを感じ、会社をつくるとき、鬼怒川と名付けたとのことです。

KINUGAWA

Ⅰ．－2　当社の概要（特徴と強み）

ゴム・樹脂部品の専門メーカーとして国内外の自動車・建機・部品メーカーに製品を提供

沿革

1939年	鬼怒川護謨工業株式会社創立
1971年	真岡工場建設、台北市に「中光橡膠工業股份有限公司」設立
1978年	東京証券取引所市場第一部上場
1985年	アメリカ　テネシー州に「CKRインダストリーズ・インク（現TEPRO）」設立
1994年	中国天津市に合弁会社「天津星光橡塑有限公司」設立
1996年	中国福州市に「福州福光橡塑有限公司」設立
1999年	東洋ゴム工業株式会社と資本・業務提携
2001年	タイに「キヌガワタイランド社」設立 工場部門分社化；キヌガワ郡山・キヌガワ大分・キヌガワ防振部品・キヌガワブレーキ部品
2006年	「鬼怒川橡塑（広州）有限公司」を設立
2010年	「キヌガワメキシコ」、「鬼怒川（大連）模具開発有限公司」を設立

主要得意先

＜国内自動車メーカー＞
日産自動車（株）　日産車体（株）　富士重工業（株）　ダイハツ工業（株）　本田技研工業（株）　東洋ゴム工業（株）
三菱自動車工業（株）　スズキ（株）　UDトラックス（株）　愛知機械工業（株）　日産工機（株）

＜部品メーカー＞
（株）ヨロズ　カルソニックカンセイ（株）　ボッシュ（株）　日立オートモティブシステムズ（株）　ユニプレス（株）　堀硝子（株）

＜建機メーカー＞
（株）小松製作所　キャタピラージャパン（株）　三菱重工業（株）　日立建機（株）

＜海外自動車メーカー＞
（中国）長安フォード　東南汽車工業　天津一汽豊田　天津一汽夏利　広汽本田汽車　上海GM
（米国）ﾄﾖﾀﾓｰﾀｰﾏﾆｭﾌｧｸﾁｭｱﾘﾝｸﾞ　北米VW

Ⅰ－3. ネットワーク

海外拠点

福州福光橡塑
（中国・福州）

天津星光橡塑
（中国・天津）

鬼怒川大連
（中国・大連）

中光橡膠工業
（台湾・桃園）

テプロ
（米国・テネシー）

CPR、キヌガワタイランド
（タイ・アユタヤ）

鬼怒川橡塑（広州）
（中国・広州）

キヌガワメキシコ
（メキシコ・グアナファト）
＊2011年2月操業開始

キヌガワ郡山
（福島県郡山市）

キヌガワ防振部品
キヌガワブレーキ部品
（栃木県真岡市）

国内拠点

国内関係会社
キヌガワ郡山 キヌガワ防振部品 キヌガワ大分 キヌガワブレーキ部品

業務提携
東洋ゴム工業 ハッチソン（フランス）

国内関係会社
佐藤ゴム化学工業　（千葉県成田市） ナリタ合成　（千葉県成田市） 帝都ゴム　（埼玉県入間市） ケイジー物流　（千葉県千葉市） キヌテック　（千葉県千葉市） エスイーシー化成　（山口県周南市） 八洲ゴム工業　（埼玉県越谷市）

キヌガワ大分
（大分県中津市）

鬼怒川ｺﾞﾑ工業㈱本社
（千葉県千葉市）

KINUGAWA

Ⅰ－4.　主力製品

業界をリードし、お客様から絶対の信頼を頂いている製品群

①車体シール部品

- 水や音、ホコリの侵入を防止する
- 長年の技術力に支えられた高い競争力

モールディング
ウインドシールド

グラスラン

②防振部品

- 高周波震動やノイズを低減する
- モノ造り力・高生産性に基く高い競争力

ストラット
マウント

エンジン
マウント

エキゾースト
マウント

ブッシュ

③精密エラストマー部品

- 車の心臓部を支える
  （ホース、ブレーキ部品等）
- 品質に万全の信頼性が求められる
  ブレーキ部品を中心とした高い技術力

ブレーキ
パーツ

フィラー
ホース

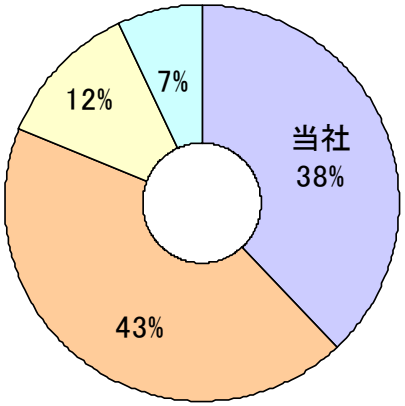
エアイン
レットホース

Ⅰ－5. 圧倒的なシェアを誇る商品群

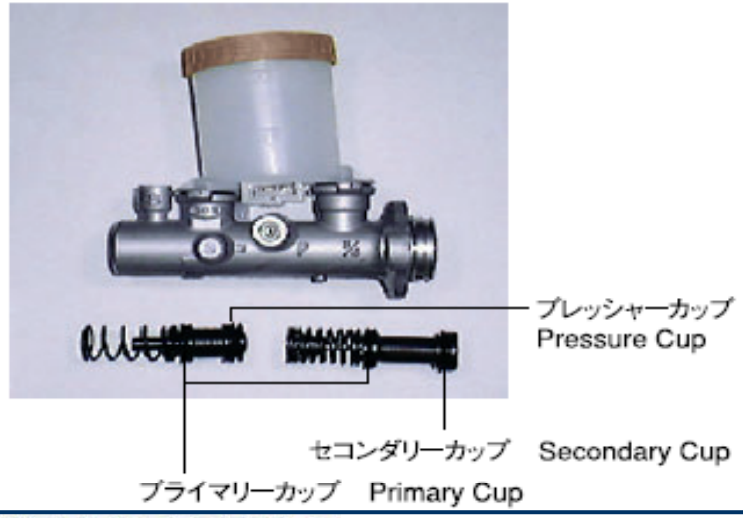
品質に万全の信頼性が求められている高精度・高精密・高耐久性部品

＜ブレーキ部品（マスターシリンダーカップ）のシェア＞

※当社推定

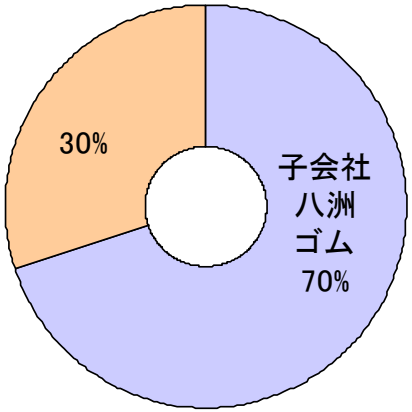


■マスターシリンダ Master Cylinder

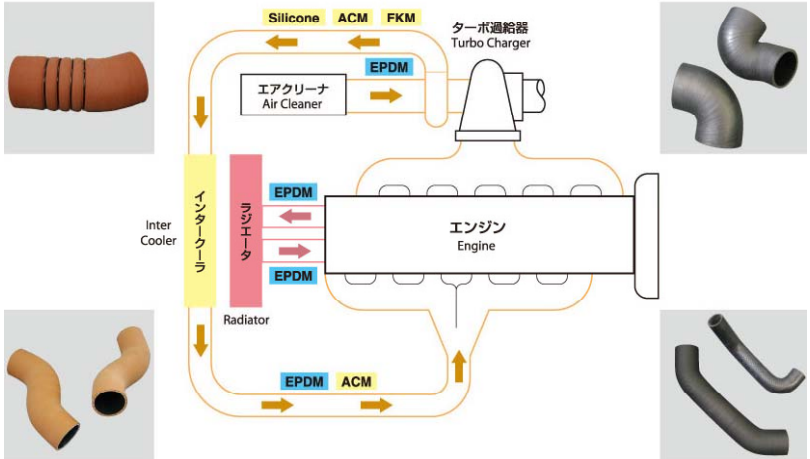


＜建設機械用吸排気系ホースのシェア＞

※当社推定



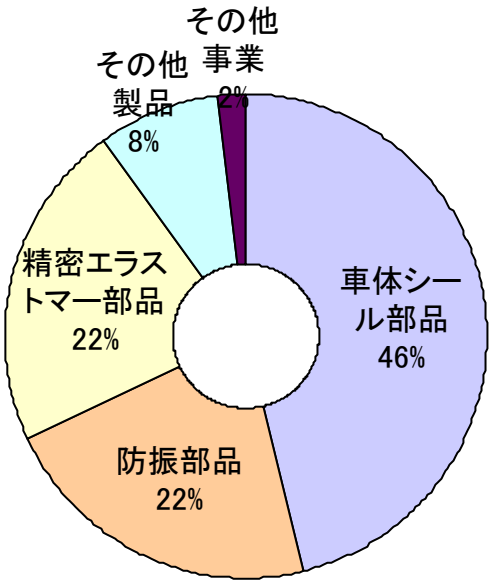
■ホース製品



Ⅰ－6. 製品別・顧客別・地域別売上高（09年度）

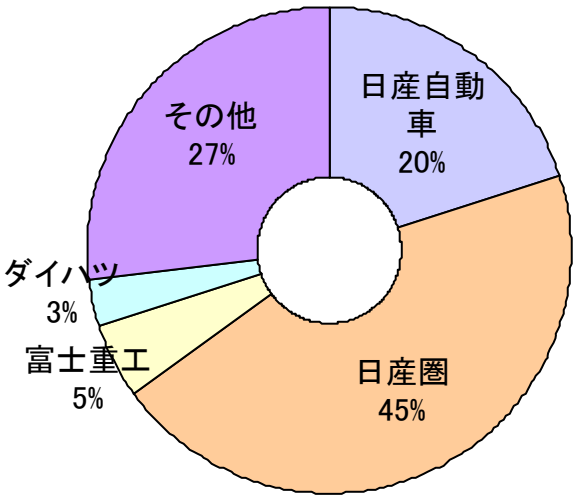
製品別売上高

車体シール以外の比率を
高めつつあります



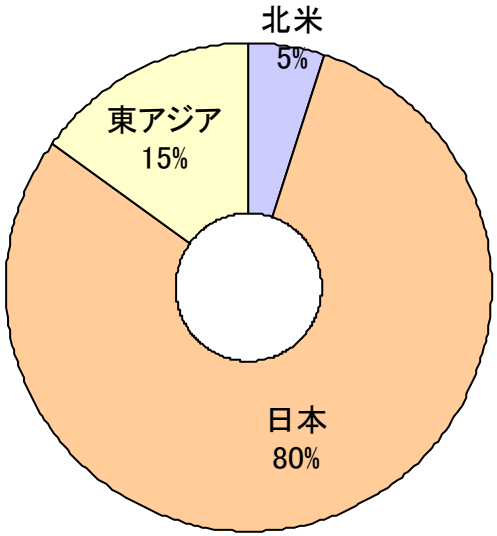
顧客別売上高

日産自動車以外の比率を
高めつつあります



地域別売上高

東アジアの比率を
高めつつあります

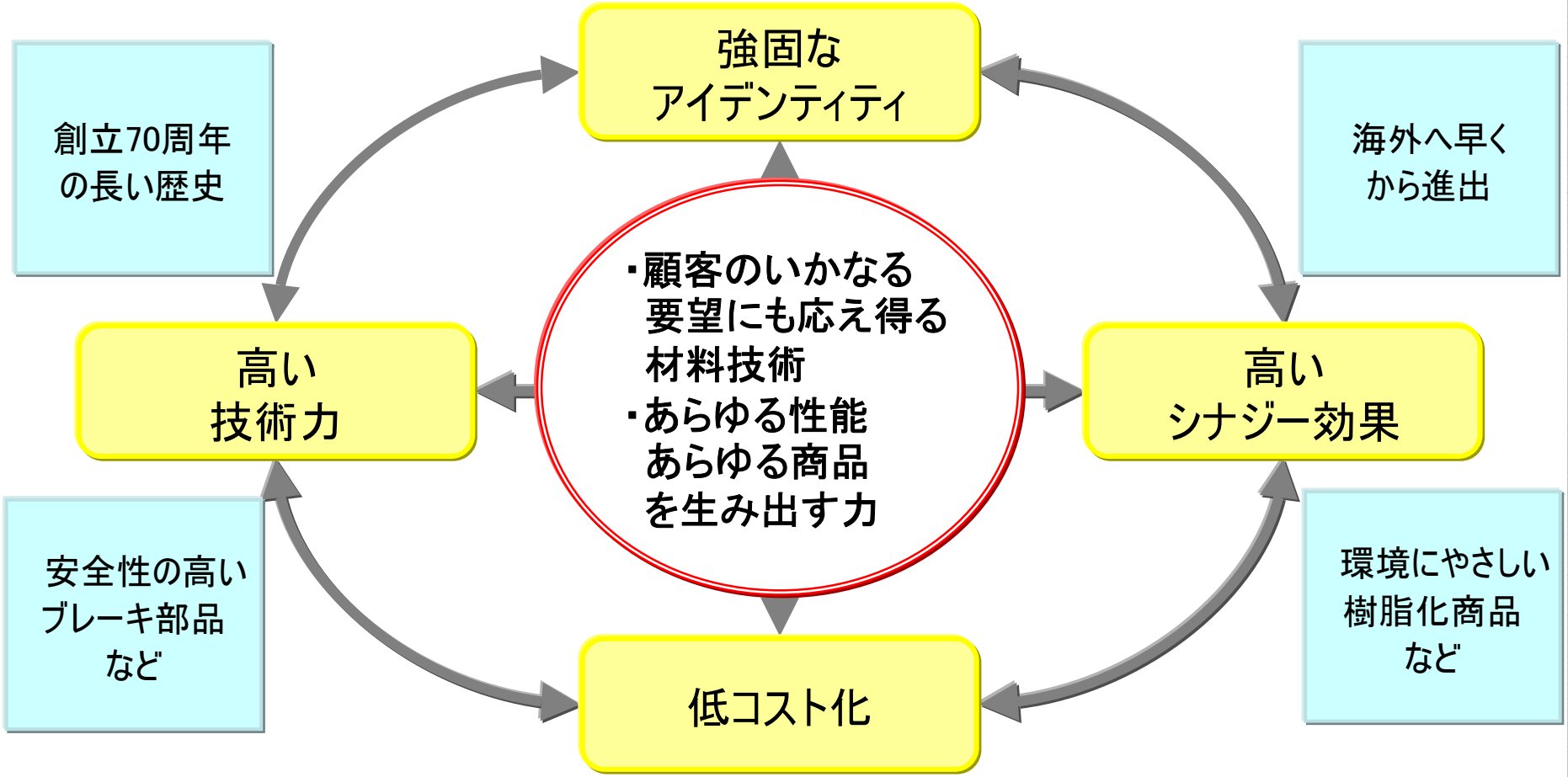


09年度売上高　52,176百万円

KINUGAWA

Ⅰ－7. 鬼怒川ゴムの強み

グローバルに“同一技術・同一品質”



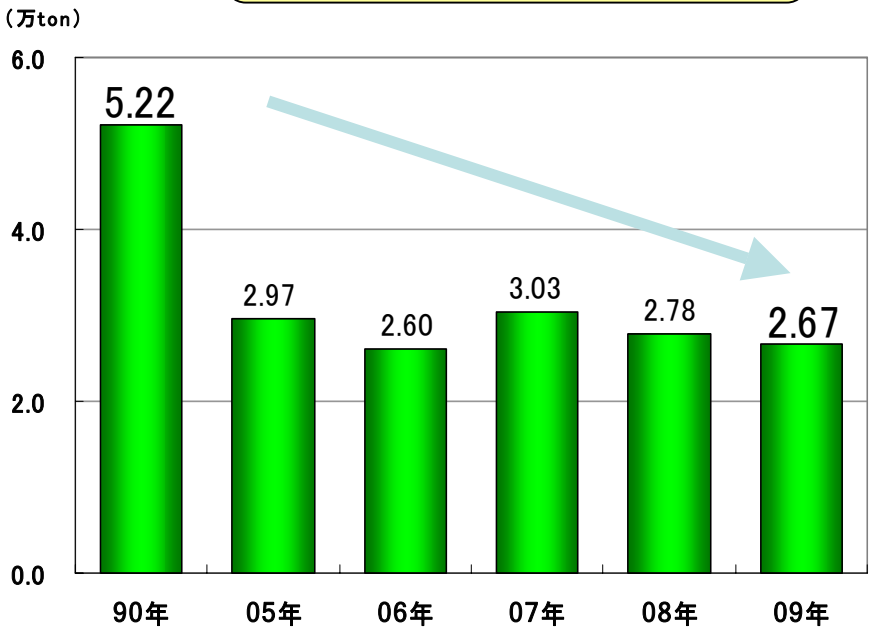
KINUGAWA

Ⅰ－8. 環境への取組み

『きれいな環境　残そう子供達に』をスローガンに環境保全活動を推進

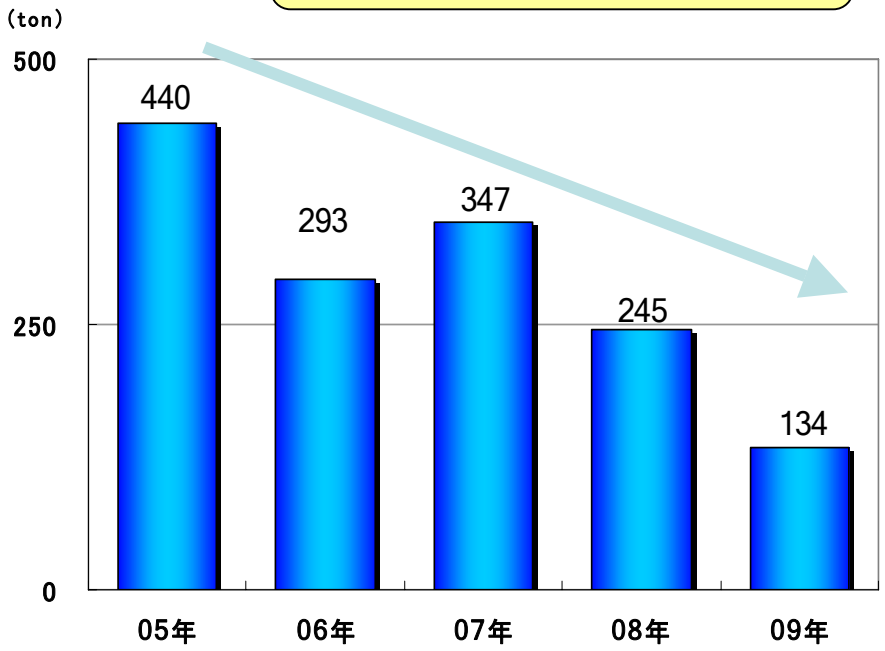
CO2 総排出量

1990年比で49%減



廃棄物の低減

2005年比で70%減

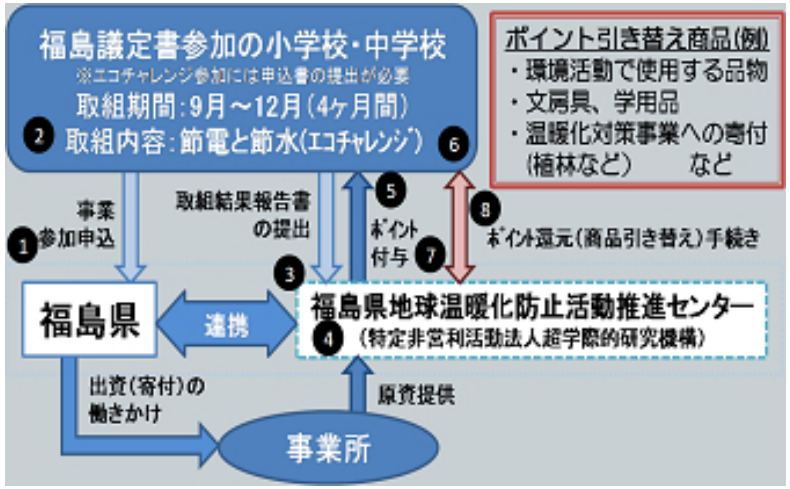


Ⅰ－10. 地域社会等への貢献

各事業所ではそれぞれ地域との共生、社会貢献を常に考え活動しています

工場周辺の環境整備；遊歩道付近の清掃

地元小学生などの工場見学受入れ



『ふくしまエコチャレンジ事業』への協賛

KINUGAWA

Ⅰ．当社の概要（特徴と強み）

Ⅱ．2010年度上期決算及び通期の見通し

・上期決算の状況

・通期の見通し

Ⅲ．当社グループの取組み

Ⅳ．今後に向けて

Ⅴ．株主還元策

Ⅱ－1.　2010年度　上期業績;営業利益・経常利益、当期純利益共に最高益更新

徹底したモノ造り力向上活動に加え、売上の増加分をロスなくフルに利益反映

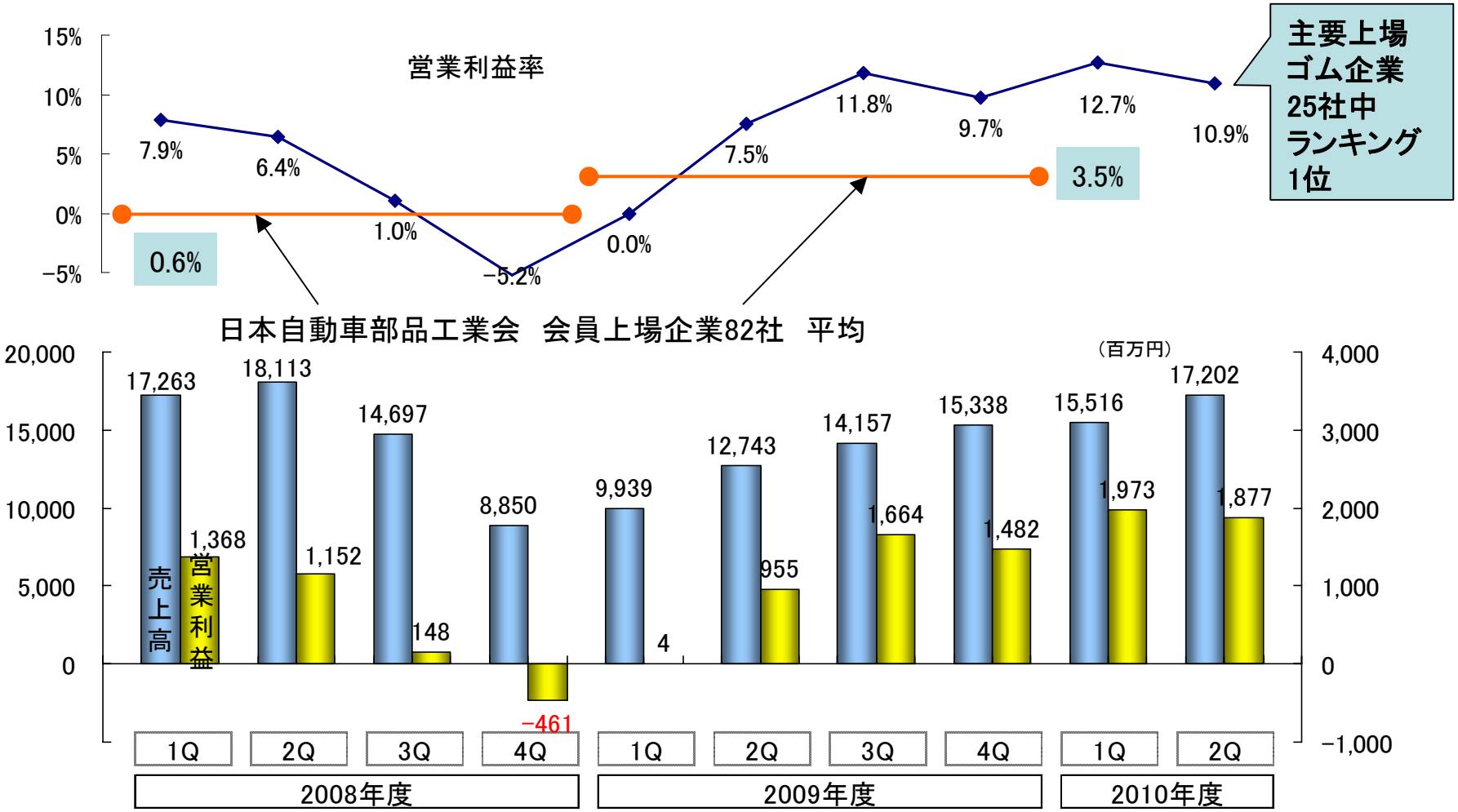
（単位:百万円未満切捨て）

	2009年度 上期実績 (2009/4～9)		2010年度 上期実績 (2010/4～9)		増減	
売 上 高	22,682	100%	32,724	100%	10,042	144.3%
営業利益	959	4.2%	3,854	11.8%	2,895	401.9%
経常利益	1,076	4.7%	3,870	11.8%	2,794	359.7%
当期純利益	712	3.1%	2,295	7.0%	1,583	322.3%
1株当たり 当期純利益	10.61円		34.19円		23.58円	

KINUGAWA

Ⅱ－2.　四半期毎 売上・営業利益推移（2008～2010年度2Q）

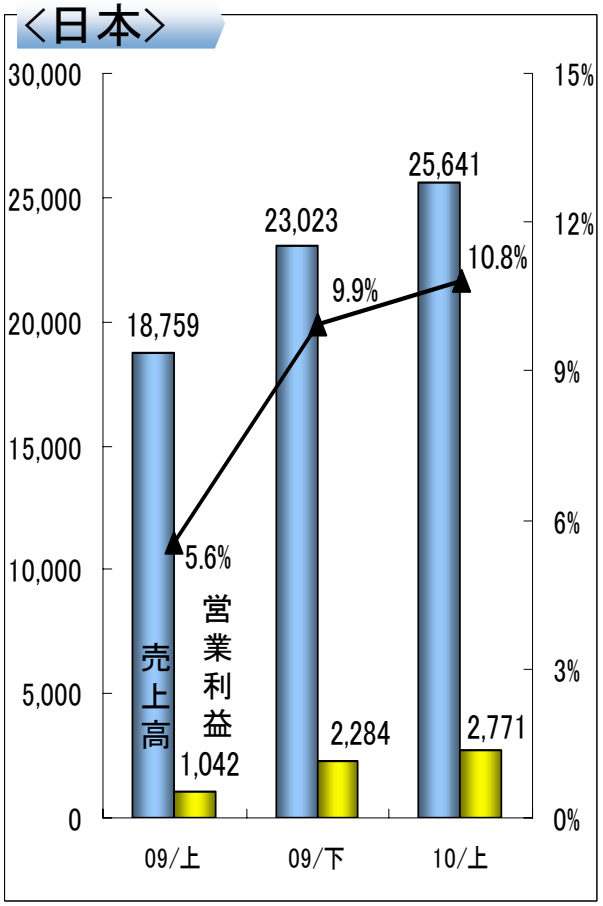
07年度から取組んだ構造改革に加え、金融危機後に即効性のある
コスト削減策を実施し急回復、その後高収益を維持・継続

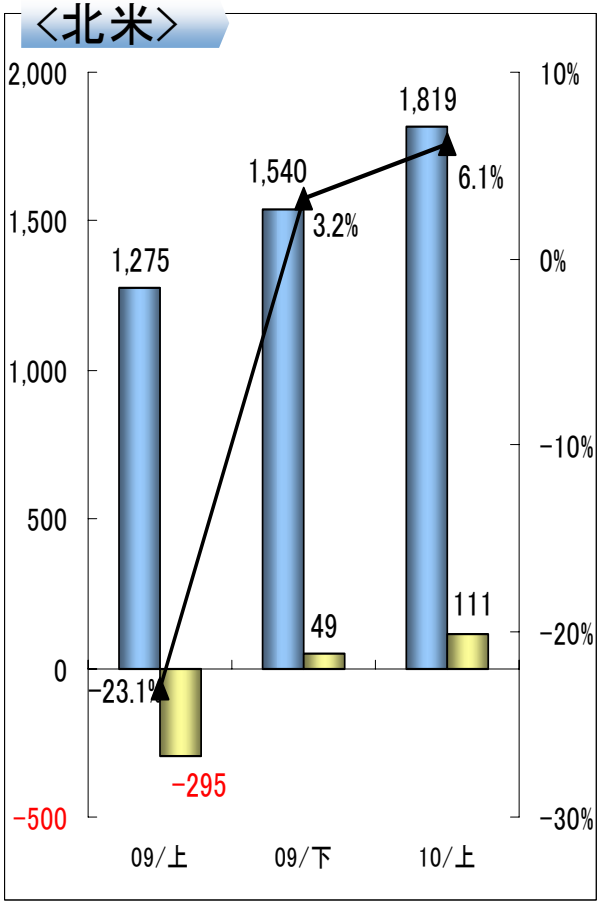


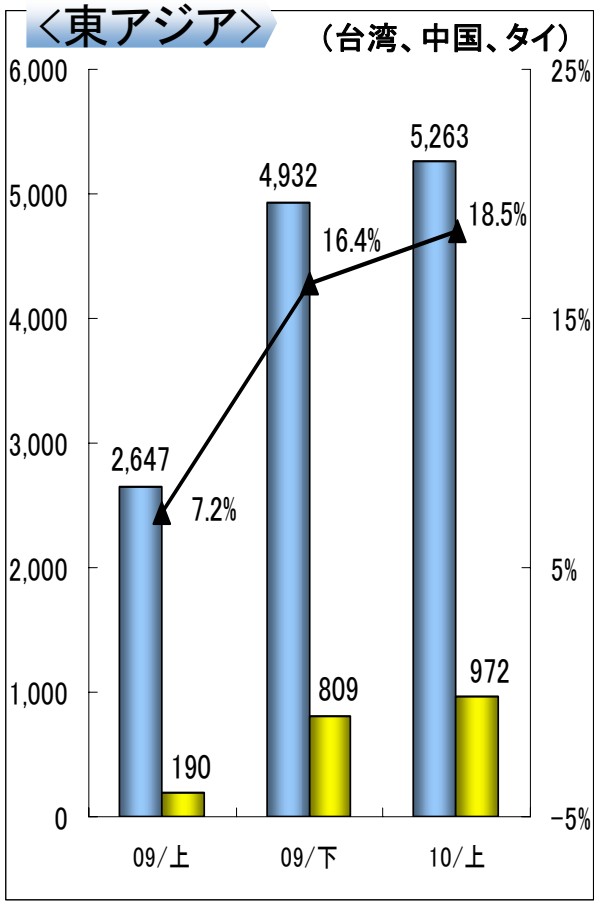
KINUGAWA

Ⅱ－3.　所在地別セグメント情報

日　　本；国内グループ内応援体制、モノ造りベンチマークのグローバル展開
北　　米；国内で実施した現場改善活動を水平展開することにより黒字化を達成
東アジア；主要得意先からの大幅な受注増、モノ造りベンチマーク活動の相乗効果
　　により大幅増収増益







KINUGAWA

Ⅰ．当社の概要（特徴と強み）

Ⅱ．2010年度上期決算及び通期の見通し

・上期決算の状況

・通期の見通し

Ⅲ．当社グループの取組み

Ⅳ．今後に向けて

Ⅴ．株主還元策

KINUGAWA

Ⅱ－4. 2007年度からの損益推移と2010年度見通し;最高益更新見込み

量の変化に柔軟に対応できる生産方式(後述)の進展による下期減産ロスの極小化

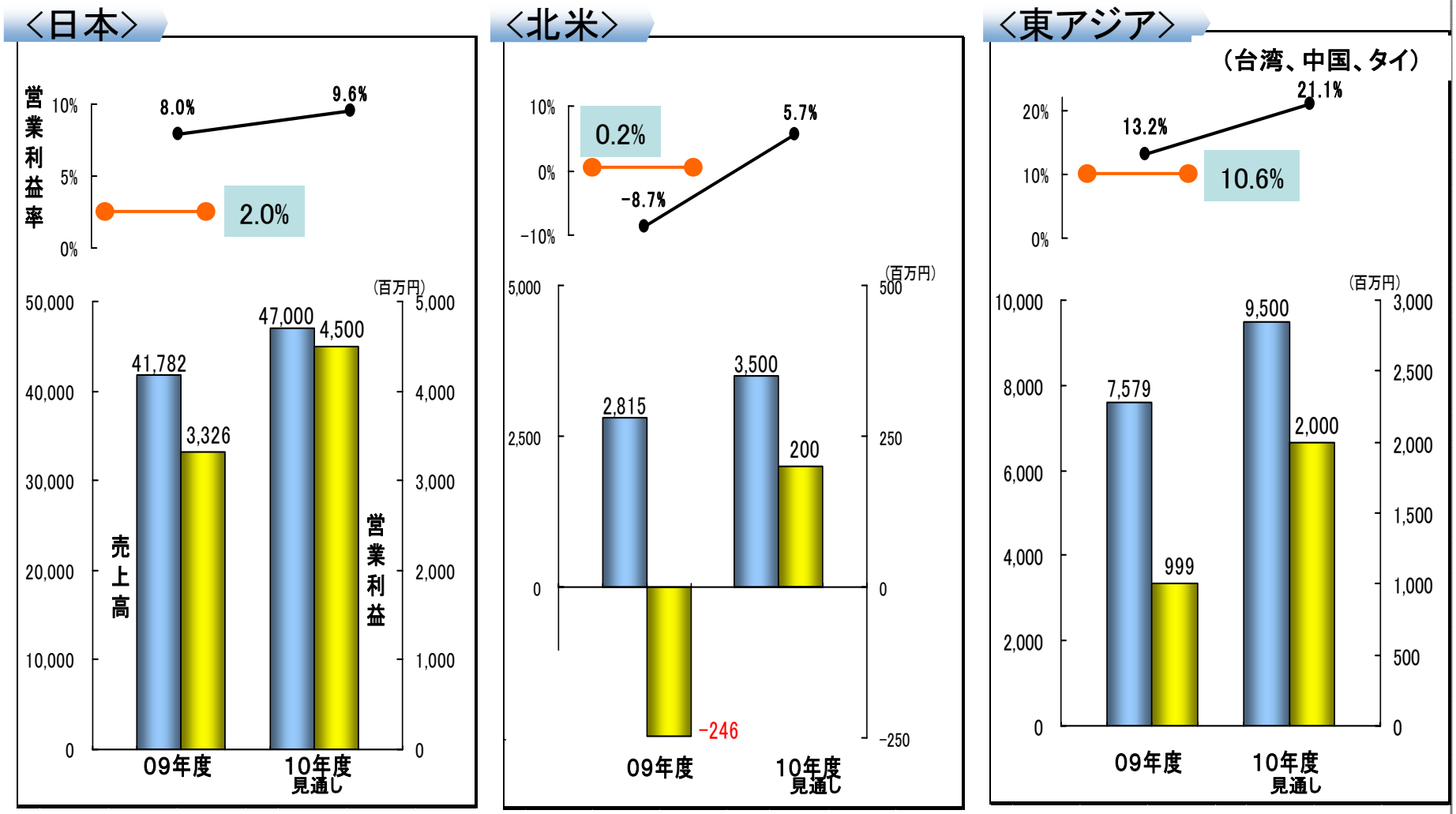
(単位:億円未満切捨て)

	07年度	08年度	09年度	10年度見通し
売 上 高	653	589	521	600
営業利益	32	22	41	67
率	4.9%	3.7%	7.9%	11.2%
経常利益	31	20	43	69
率	4.7%	3.4%	8.3%	11.5%
当期純利益	4	7	29	43
総 資 産	513	416	435	440
自己資本	94	91	121	149
率	18.4%	22.0%	27.9%	33.9%
借入金残	196	182	154	110
DEレシオ	2.1	2.0	1.3	0.7

KINUGAWA

Ⅱ－5.　所在地別の状況

2010年見通しでは、全所在地で増収増益



KINUGAWA

——— ;日本自動車部品工業会　会員上場企業82社　平均

Ⅰ．当社の概要（特徴と強み）

Ⅱ．2010年度上期決算及び通期の見通し

・上期決算の状況
・通期の見通し

Ⅲ．当社グループの取組み

Ⅳ．今後に向けて

Ⅴ．株主還元策

KINUGAWA

Ⅲ－1.　Kinugawa Challenge　活動の推進

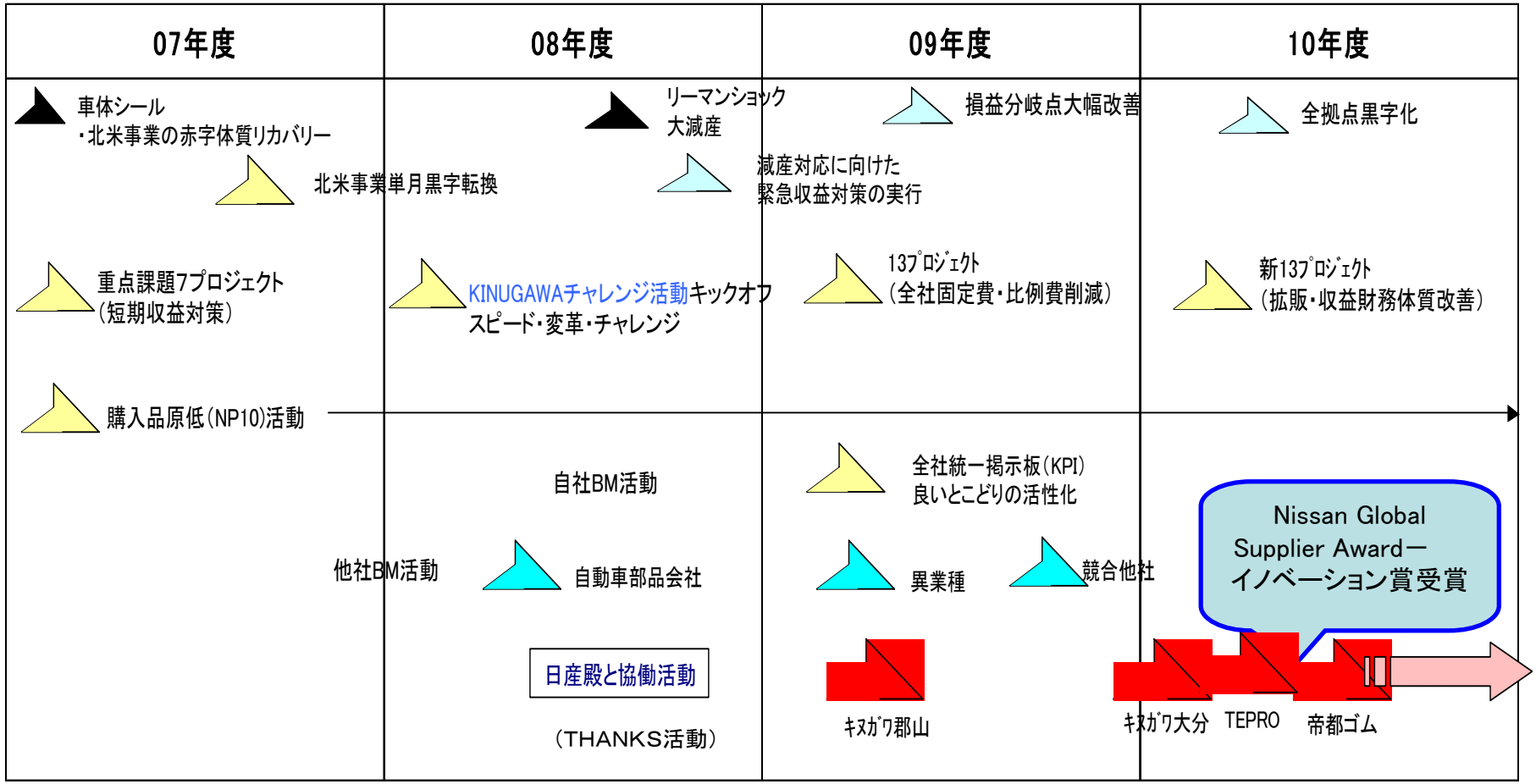
基本方針	「増収・増益」を継続できる企業体質（損益分岐点比率） 「Kinugawa Challenge」活動取組みの継続と発展・強化
キーワード	「スピード」・「変革」・「チャレンジ」
3つの構造改革	①短期収益を良くする　⇒重点課題プロジェクト ②売上が伸ばせられる　⇒一気通貫でチームプレー ③仕事の質をよくする　⇒業務革新プロジェクト

分社経営、事業部運営、機能軸KPI、モノ造り力向上などを推進

KINUGAWA

Ⅲ－2.　Kinugawa Challenge活動の経緯

07年度以降、構造改革に着手、企業体質の改善活動を継続中



Ⅲ－3.　得意先との協働活動によるモノ造り力向上成果

2010年7月、日産自動車傘下グループサプライヤー総会にて、日産自動車殿より「Nissan Global Supplier Award－イノベーション賞」を受賞

＊日産自動車殿との協働活動を通じて「モノ造り力向上」による生産性向上の成果をあげ、2009年度の同社への商品・技術分野に貢献

Nissan Global Supplier Award
Global Innovation Award

KINUGAWA RUBBER INDUSTRIAL CO.,LTD.
Large scale of productivity improvement by reinforcing "Monozukuri" capability through the THANKS collaborative activity

This award is presented to you in appreciation of your excellent performance in technical innovation.

Thank you for your continuous efforts and outstanding contribution to NISSAN.

NISSAN MOTOR CO., LTD.

Carlos Ghosn
President
Chief Executive Officer

JULY 2010

NISSAN

左）日産自動車　志賀COO殿
右）当社 社長　関山定男

KINUGAWA

Ⅲ－4.　主な取組み

量の変化に柔軟に対応できる体制造り

1）セル生産方式及び生産ラインの直結化
2）徹底したロスの削減（段取りロス、歩留まり、不良低減）
3）生産リードタイムの短縮（在庫削減・構内物流改善・直納化）
4）得意先との協働活動によるトータルデリバリーコストの削減
5）人的資源の有効活用（拠点間応援）

固定費の削減

1）間接業務効率化（機能統合、大部屋化、直接員化）
2）償却費及び経費の削減

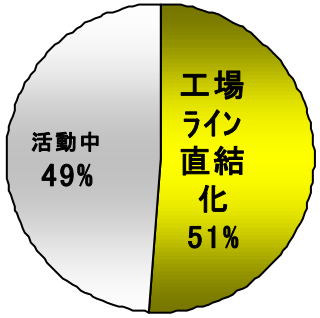
調達コストの削減（NP）活動

1）グローバル調達（原材料・設備・金型）
2）汎用化・標準品化
3）サプライヤーとの協働活動

工場ライン改善状況 【直結化・セル化】

2009年

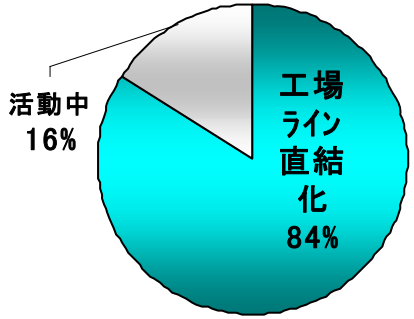
グローバル



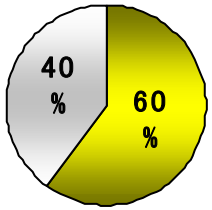
改善

2010年

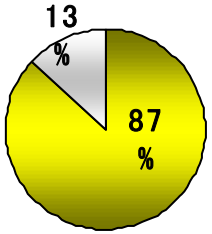
グローバル



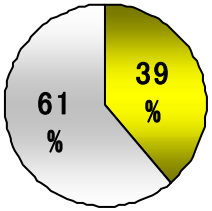
日本



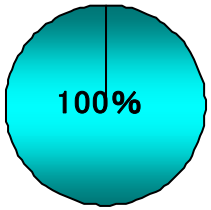
北米



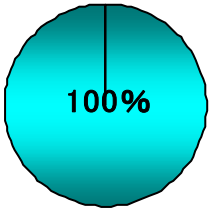
東アジア



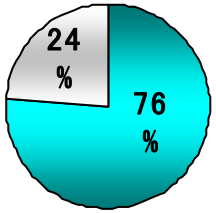
日本



北米



東アジア



2011年度完了予定

Ⅲ－6.　主な取組み　改善事例紹介 ①

・防振部品ブッシュ生産工程の改善
社内内製で投資を抑えたセル生産方式
（1人屋台ライン）による生産性向上

＜改善の着眼点＞

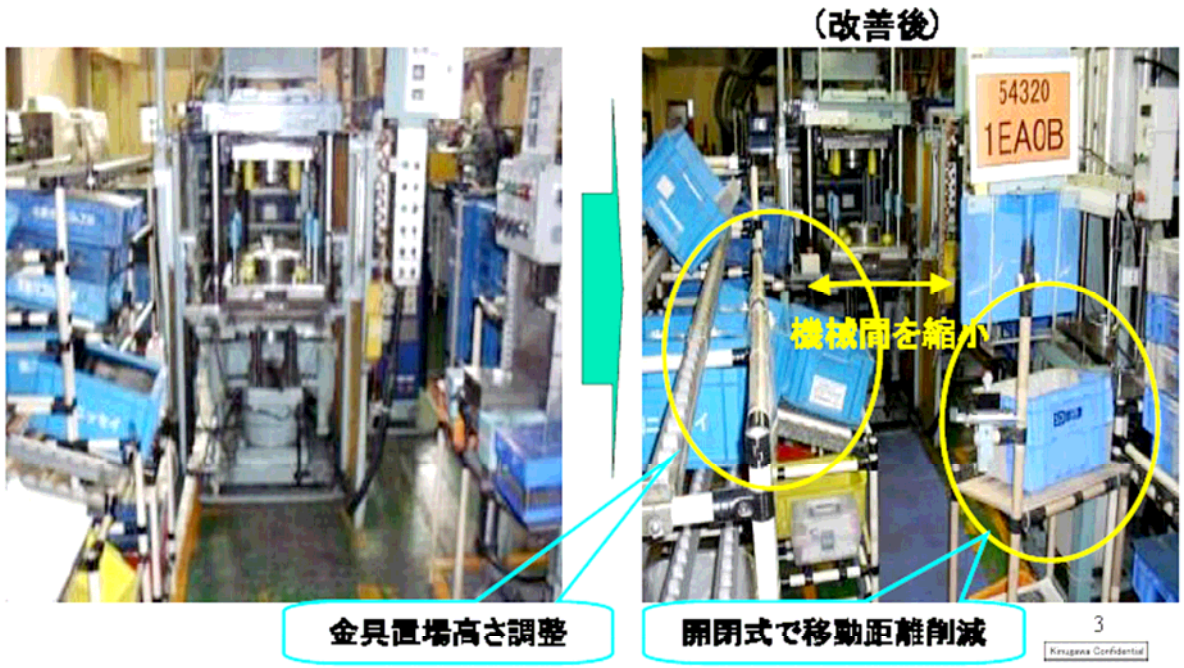
1）直結化

2）作業ポイント削減

3）作業環境の向上

4）全員参加で改善

5）改善⇒ステップアップ



効果：歩行数削減、手作業時間削減による出来高向上

Ⅲ－6.　主な取組み　改善事例紹介 ②

・自動搬送機（AGV）による構内物流改善

社内内製による完成品の自動搬送・・・無人化

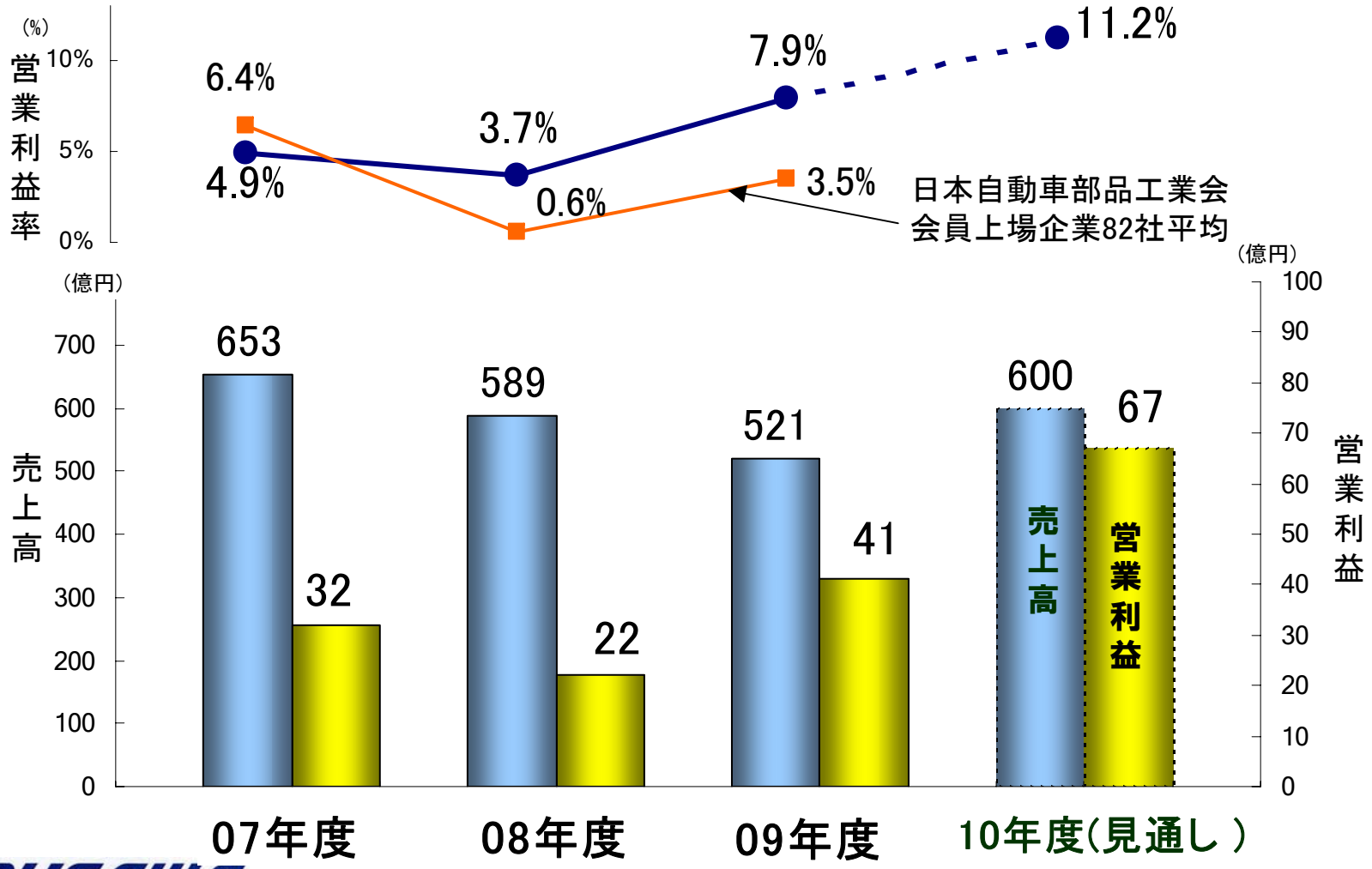
（効果）

- 納入，次工程に必要な分だけを供給
  【工程在庫のムダ“0”】
- 無人搬送による段取り要員の削減
- 物流工程ピッキング段取り時間削減

KINUGAWA

Ⅲ－7.　連結業績の推移

技術的な裏付けに基づく改善活動で量の変化に柔軟に対応出来、後戻りのない生産方式を確立し、業界トップクラスの利益率を達成



KINUGAWA

Ⅰ．当社の概要（特徴と強み）

Ⅱ．2010年度上期決算及び通期の見通し

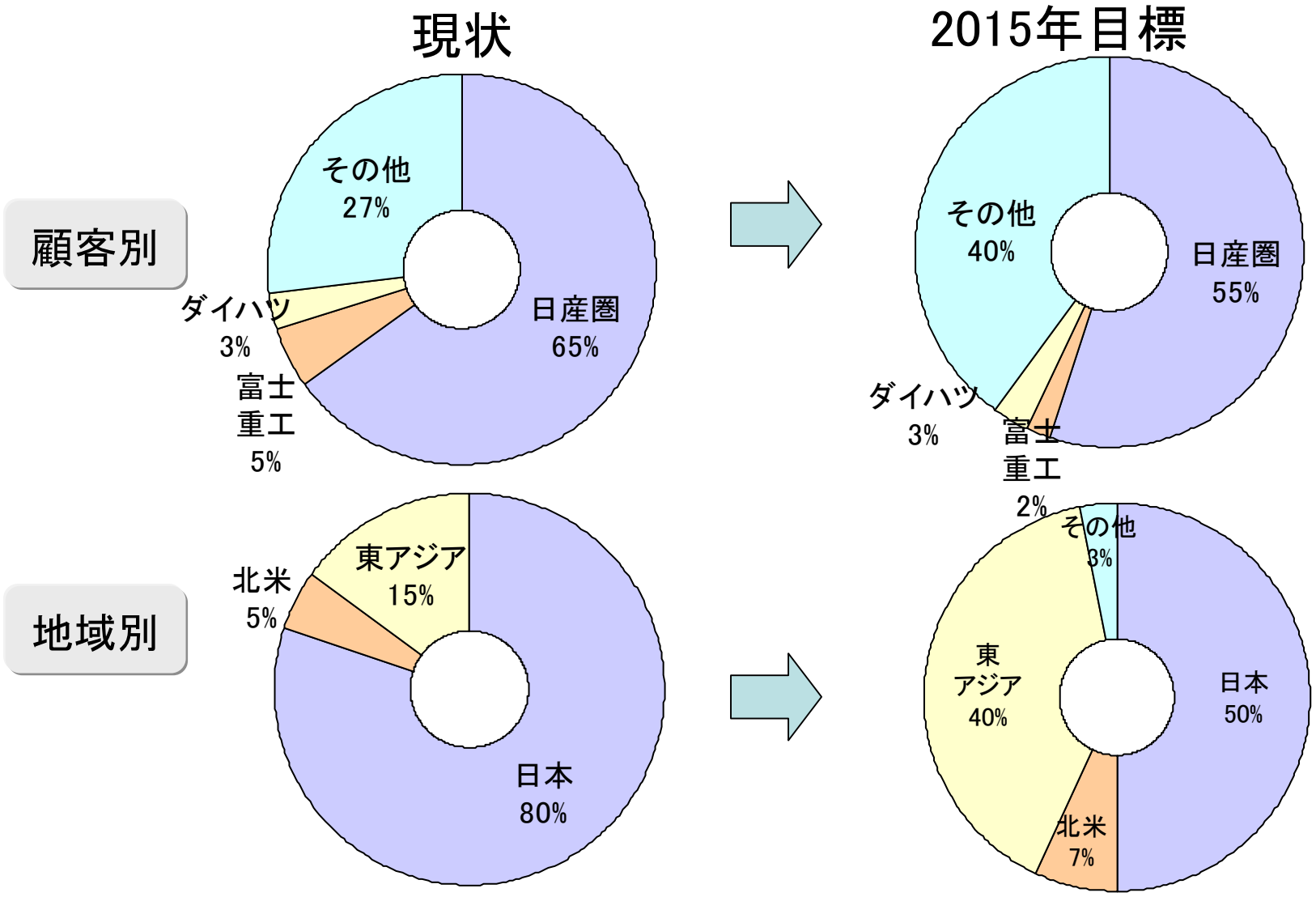
・上期決算の状況
・通期の見通し

Ⅲ．当社グループの取組み

Ⅳ．今後に向けて

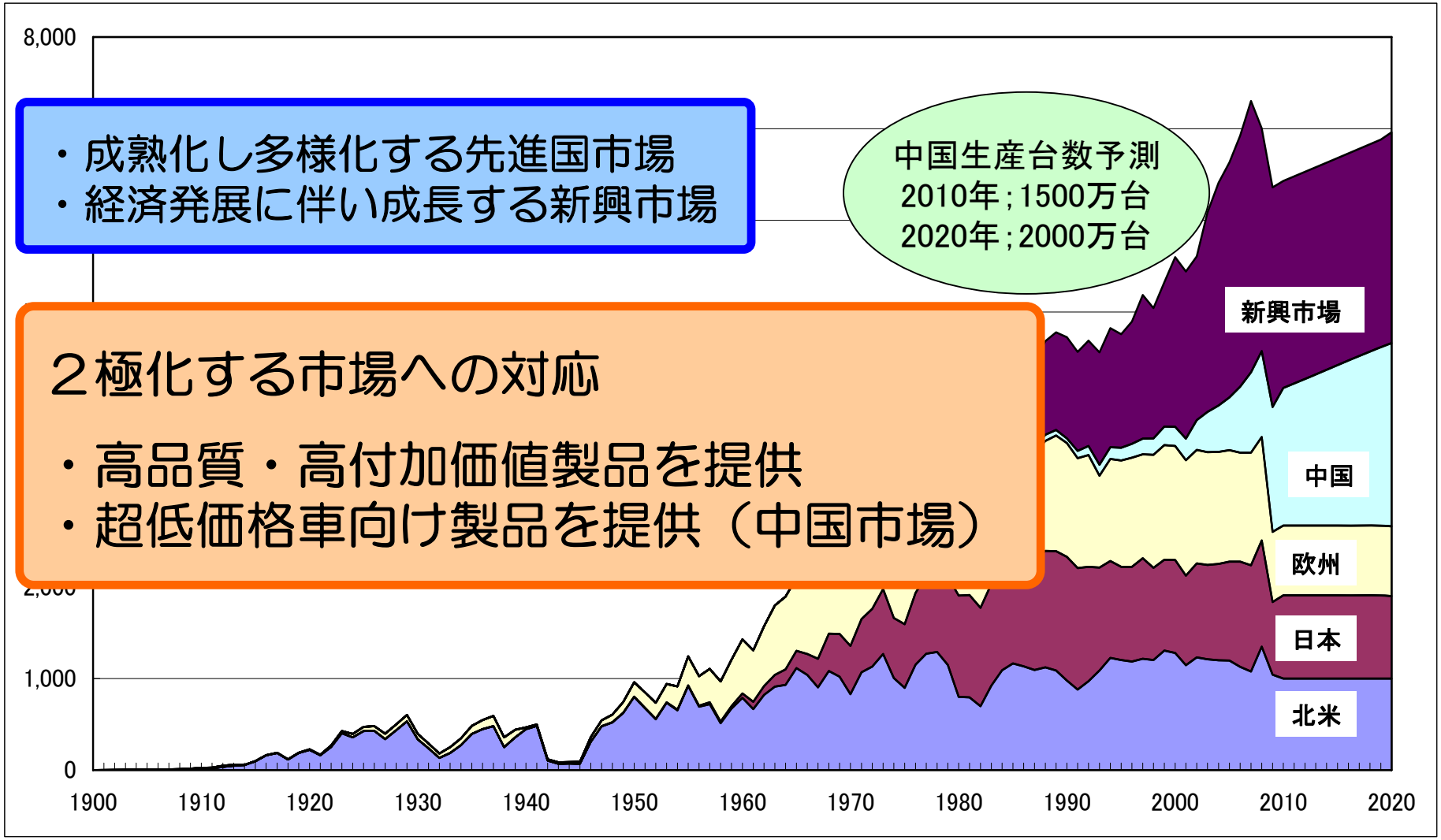
Ⅴ．株主還元策

Ⅳ－1. 顧客別・地域別シェアの現状と目標



Ⅳ－2.　グローバル自動車市場の動向

世界自動車生産台数推移



・成熟化し多様化する先進国市場
・経済発展に伴い成長する新興市場

２極化する市場への対応

・高品質・高付加価値製品を提供
・超低価格車向け製品を提供（中国市場）

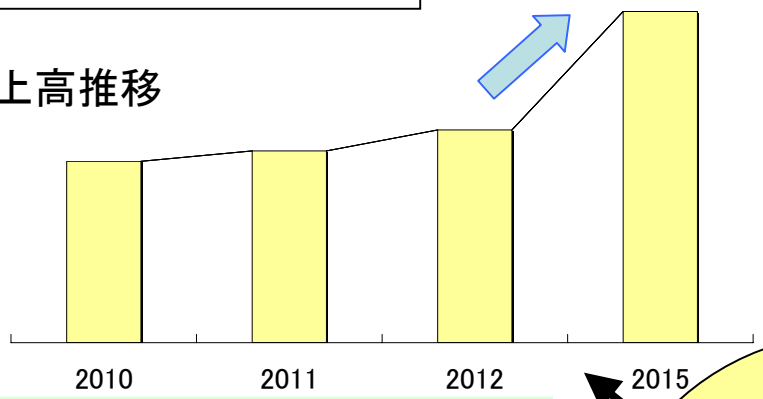
出典　MVMA World Motor Vehicle Data (1900-1972)
WARD's World Automobile Data (1973-2007)

日興コーディアル証券資料より

Ⅳ－3.　製品別拡販活動

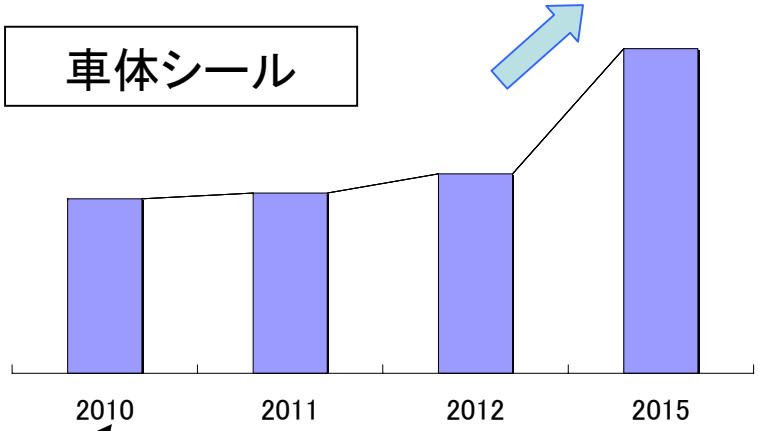
精密・エラストマー

売上高推移

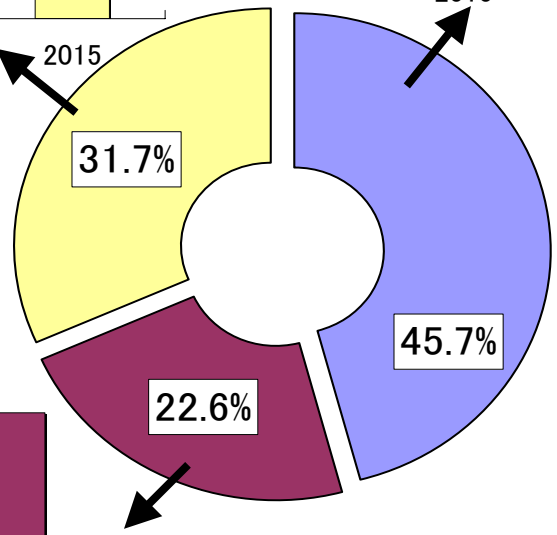


・次世代ブレーキカップの開発
・樹脂ブーツの開発
・中低圧ホースの拡販

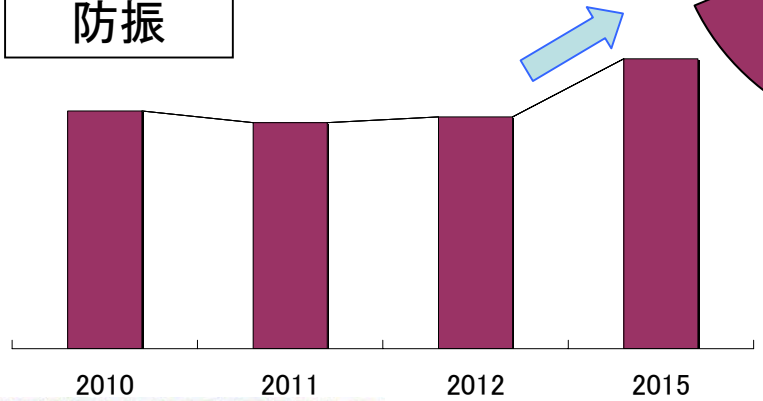
車体シール



・軽量化部品の開発
・リサイクル技術の開発



防振



・軽量防振部品の開発
・非自動車部品への拡販

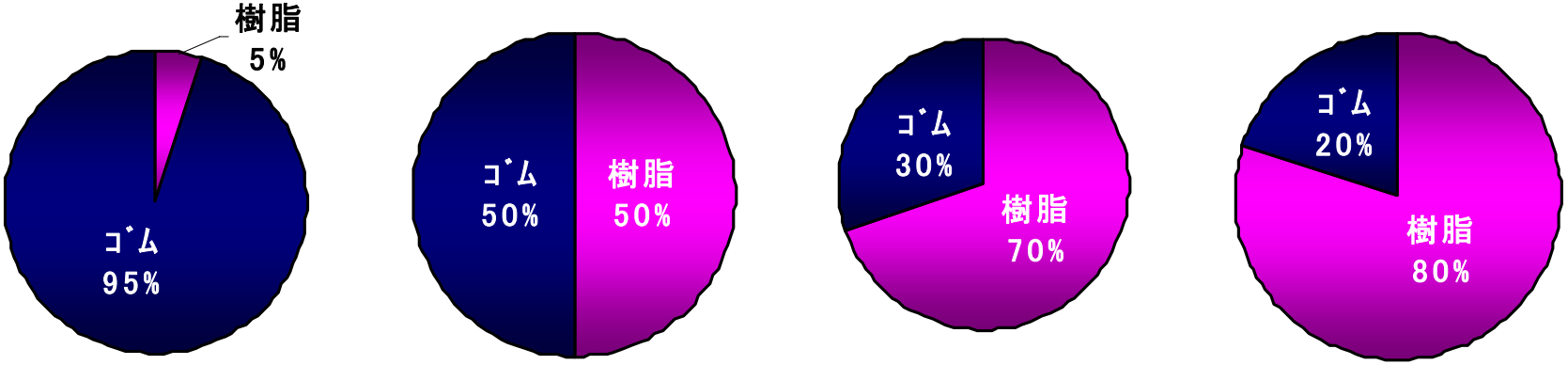
KINUGAWA

Ⅳ－4.　樹脂化の推進

樹脂化の目的

- 環境対応（CO2削減、リサイクル性向上）
- 軽量化（燃費向上）
- 作り易い、グローバル展開が容易、コストダウンが可能

樹脂化の推進計画 ・・・樹脂グラスラン他



2000年樹脂化率　2005年樹脂化率　2010年樹脂化率　2015年樹脂化率

KINUGAWA

Ⅳ－5. 拠点拡大

鬼怒川(大連)模具開発有限公司設立

金型LCC拠点として中国に金型開発センターを設立

鬼怒川大連

天津

重慶市
サテライト工場

福州

広州

台湾

タイ

テネシー

キヌガワメキシコ

中国における新工場の設立検討

キヌガワメキシコ設立

得意先のグローバルカー戦略に
呼応してメキシコに生産拠点を設立

(2011年2月操業開始)

KINUGAWA

Ⅳ－6. 人材育成

将来の事業拡大を図るために
　グローバルスタンダードで仕事をする
　人的リソースの充実と仕事の質の向上
キーワード; グローバルなお客様と当たり前の仕事が出来る人材育成

①グローバル人材育成と適正な人員配置

・コンピテンシー評価体系に基づく計画的な人材プロモーション

・プロモーションとリンクした階層別教育の実施

・従業員のマルチ化、技術・技能伝承

・開発、営業部門を始めとした組織体制の強化、充実

・グローバル人材配置

②グローバル人材確保

・産学連携

・ダイバーシティ（外国人、シルバー人材採用）

Ⅰ．当社の概要（特徴と強み）

Ⅱ．2010年度上期決算及び通期の見通し

・上期決算の状況
・通期の見通し

Ⅲ．当社グループの取組み

Ⅳ．今後に向けて

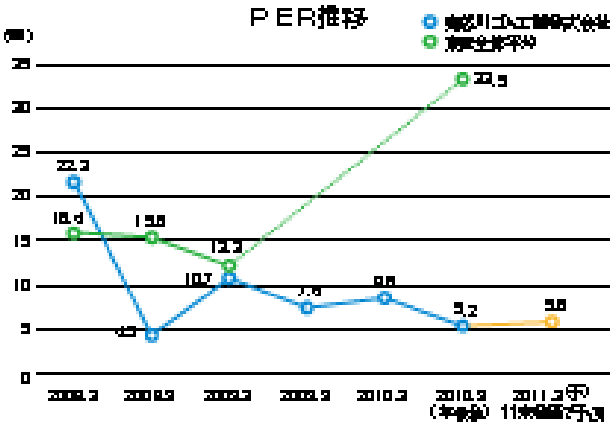
Ⅴ．株主還元策

Ⅴ．株主還元策

当社は株主還元の指標として、DOE（株主資本配当率）2～3%を目指しています
11年3月期は現時点では、普通配当で4円を予定

	07年度	08年度	09年度	10年度（見通し）
当期純利益　（百万円）	490	729	2,980	4,300
1株当たり当期純利益（円）	7.30	10.86	44.40	64.05
1株当たり配当金　（円）	3.00	3.00	4.00	4.00

当社PER推移

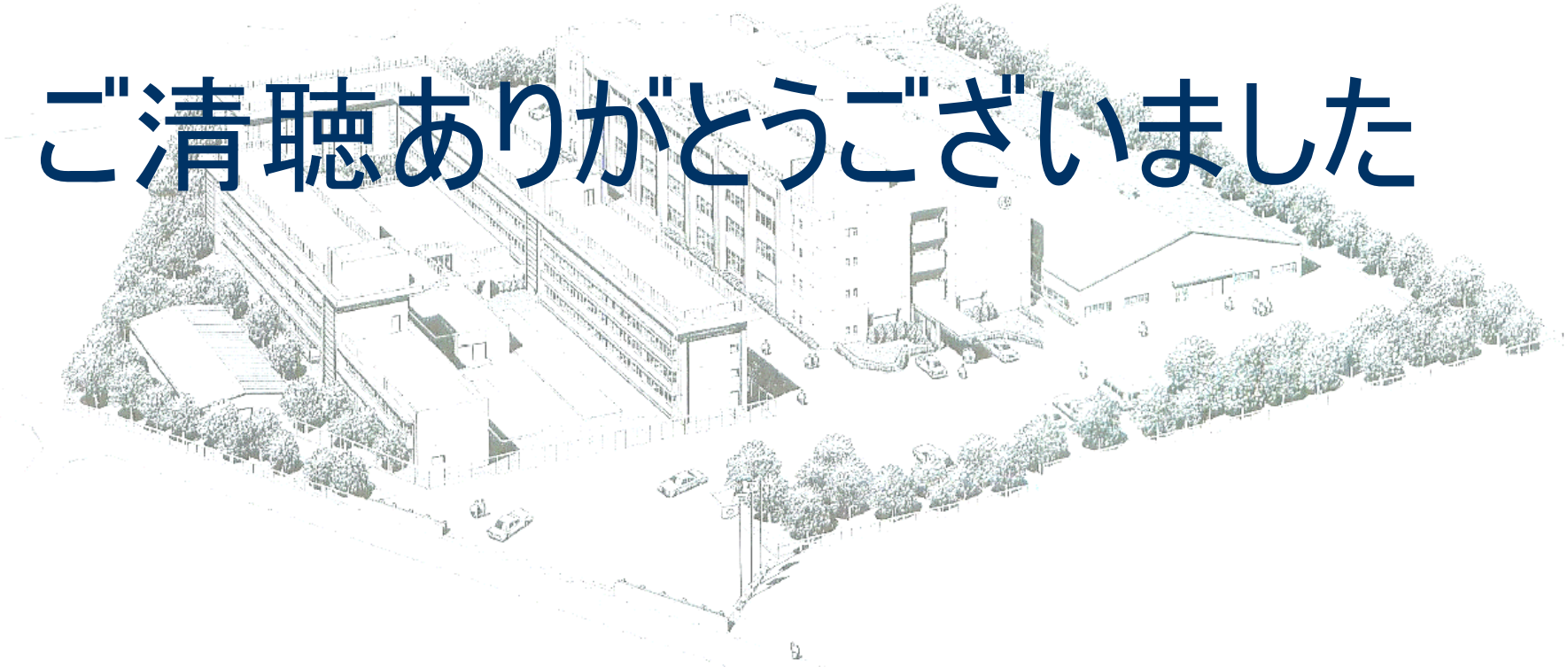


当社株価推移

株価はこの2年間でほぼ2倍

KINUGAWA

ご清聴ありがとうございました



鬼怒川ゴム工業株式会社

本書には、当社および/または当社グループに関連する予想、見通し、目標、計画等の将来に関する記述が含まれています。これらは当社が現在入手している情報に基づく、本書作成時点における予測等を基礎として記載されています。また、これらの記述のためには、一定の前提（仮定）を使用しております。これらの記述または前提（仮定）は主観的なものであり、将来において不正確であることが判明したり、将来実現しない可能性があります。実際の業績は、今後様々な要因により業績予想と異なる結果となる可能性があります。このような事態の原因となりうる不確実性やリスクは多数ありますが、これらに関する追加情報については、当社の有価証券報告書、短信等開示書類、プレスリリース等をご参照ください。

本書は、情報提供を目的とするものであり、投資勧誘を目的としているものではありません。

本書に記載されている当社ないしは当社グループ以外の企業等にかかわる情報は、公開情報等から引用したものです。情報の正確性・適切性等について、当社は何らの検証を行っておらず、またこれを保証するものではありません。

ご照会等は、下記までお願いいたします。

■鬼怒川ゴム工業株式会社　管理部

電話：043-259-3111（代表）

E-mail：kinugawa-ir@kinugawa-rubber.co.jp

■ホームページのご案内

URL：http://www.kinugawa-rubber.co.jp/index.html

《IR情報》http://www.kinugawa-rubber.co.jp/investor/